

## 10月13日(金曜日): 大会3日目

### 第1会場(大ホール)

#### 9:00 - 9:30 日本国際保健医療学会総会大会長講演

##### 熱帯医学と国際保健における人類生態学的アプローチ

門司和彦(長崎大学熱帯医学研究所 附属熱帯感染症研究センター)

座長: 中村安秀(大阪大学・次期日本国際保健医療学会総会 大会長)

#### 9:30 - 10:20 特別講演6

##### 文化人類学と開発援助 - グシイの家族計画を中心に -

松園 万亀雄<sup>1)</sup>

1) 国立民族学博物館

座長: 青木克己(長崎大学熱帯医学研究所)

#### 10:20 - 15:00 シンポジウム5(休憩 12:00 - 13:00)

##### 文化人類学は医療協力の役に立つのか? - 医療従事者と人類学者の対話にむけて -

(国立民族学博物館との共同シンポジウム)

<文化人類学と医療協力I>

オーガナイザー: 岸上伸啓(国立民族学博物館)

關 雄二(国立民族学博物館)

尾崎敬子(結核研究所)

座長: 關 雄二(国立民族学博物館)

尾崎敬子(結核研究所)

シンポジウムの趣旨説明

岸上 伸啓<sup>1)</sup>、關 雄二<sup>1)</sup>、尾崎 敬子<sup>2)</sup>

1) 国立民族学博物館 2) 結核研究所

#### S5 - 1 ハイリスク妊娠・出産と人々の「異常」概念 - モロッコ農村部における母子保健政策と住民の葛藤 - 井家 晴子<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院 文化人類学研究室博士課程

コメント: 尾崎敬子(結核研究所)

#### S5 - 2 ウガンダにおける病因論と下痢症削減対策への示唆

杉田 映理<sup>1)</sup>

1) 国際協力機構

コメント: 増田 研(長崎大学 環境科学部)

#### S5 - 3 国際医療協力、人類学、対象地域のはざままで - インドネシア・スラウェシ地域医療開発プロジェクトの事例より -

大橋 亜由美<sup>1)</sup>

1) 放送大学

コメント: 岸上伸啓(国立民族学博物館)

(休憩 12:00 - 13:00)

#### S5 - 4 医療協力における文化人類学の二つの役割?

白川 千尋<sup>1)</sup>

1) 国立民族学博物館 先端人類科学研究部

コメント：池田光穂（大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター）

<文化人類学と医療協力II：パネル・ディスカッション/全体討論>

座長：佐藤 寛（アジア経済研究所・国立民族学博物館）

パネラー：井家晴子・杉田映理・大橋亜由美・白川千尋・池田光穂

S5 - 5 文化人類学は医療協力の役に立つのか？：国際開発学の視点から

佐藤 寛<sup>1)</sup>

1) アジア経済研究所

---

## 第2会場（国際会議場）

---

### 9：35 - 12：00 ワークショップ14

#### マラリア対策の社会技術開発研究

オーガナイザー：狩野繁之（国立国際医療センター）

座長：狩野繁之（国立国際医療センター）

川端真人（神戸大学 医学部）

---

W14 - 1 フィリピンパラワン島の地域住民参加型マラリア対策

狩野 繁之<sup>1)</sup>、河津 信一郎<sup>1)</sup>、ANGLUBEN RAY<sup>2)</sup>、TONGOL - RIVERA PILARITA<sup>3)</sup>

1) 国立国際医療センター研究所 適正技術開発・移転研究部 2) Kilusan Ligas Malaria, Puerto Princesa, the Philippines 3) Department of Parasitology, College of Public Health, University of the Philippines Manila, Manila, the Philippines

W14 - 2 インドネシア・ロンボク島及びスンバワ島におけるマラリアコントロールプロジェクトの事後評価

依田 健志<sup>1)</sup>、峰松 和夫<sup>1)</sup>、阿部 朋子<sup>2)</sup>、Sukmawati Basuki<sup>3)</sup>、Yoes Prijatna Dachlan<sup>3)</sup>、門司 和彦<sup>2)</sup>、神原 廣二<sup>4)</sup>、樂得 康之<sup>5)</sup>、溝田 勉<sup>1)</sup>

1) 長崎大学熱帯医学研究所 社会環境医学分野 2) 長崎大学熱帯医学研究所 熱帯感染症研究センター 3) The Tropical Disease Center Airlangga University, Surabaya, Indonesia 4) 長崎大学熱帯医学研究所 感染細胞修飾機構 5) チューレーン大学医療センター公衆衛生熱帯医学大学院

W14 - 3 ソロモン諸島マラリア医療サービスの拡大戦略：アウトリーチとリファージシステム

川端 真人<sup>1)</sup>、大橋 真<sup>2)</sup>、石井 明<sup>3)</sup>

1) 神戸大学医学部医学医療国際交流センター 2) 徳島大学総合科学部 3) 実践女子大

W14 - 4 ラオスにおけるプライマリヘルスケアのためのマラリア初期治療

野中 大輔<sup>1)</sup>、小林 潤<sup>2)</sup>、加藤 紀子<sup>2)</sup>、當眞 弘<sup>3)</sup>、狩野 繁之<sup>4)</sup>、神馬 征峰<sup>1)</sup>

1) 東京大学 大学院 医学研究科 国際地域保健学 2) 国立国際医療センター 国際医療協力局 3) 琉球大学医学部 熱帯寄生虫学 4) 国立国際医療センター 研究所 適正技術開発移転研究部

W14 - 5 学校保健アプローチによるマラリア対策

小林 潤<sup>1)</sup>、狩野 繁之<sup>2)</sup>

1) マヒドン大学 熱帯医学部 国際寄生虫対策アジアセンター 2) 国立国際医療センター研究所

---

### 13：00 - 15：30 ワークショップ16

#### 結核・エイズ - アジア・アフリカのフィールド研究活動と人材育成のネットワーク構築へ向け -

オーガナイザー：野内英樹（長崎大学熱帯医学研究所）

座長：石川信克（結核研究所）

有吉紅也（長崎大学熱帯医学研究所）

---

W16 - 1 エイズと結核の国際共同研究と人材育成システムとの連携：タイ国チェンライ県での経験より

野内 英樹<sup>1)</sup>、山田 紀男<sup>2)</sup>、今津 里沙<sup>2)</sup>、石川 信克<sup>2)</sup>

- 1) 長崎大学 国際連携研究戦略本部 及び 熱帯医学研究所 2) 結核研究所
- W16 - 2 コミュニティにおける結核/HIV マネージメント JICA「ザンビア HIV/AIDS および結核対策プロジェクト」における試行  
 村上 邦仁子<sup>1)</sup>、Mwaka Monze<sup>2)</sup>、Gina Mulundu<sup>2)</sup>、Rachel Mwape<sup>3)</sup>、御手洗 聡<sup>1)</sup>、石川 信克<sup>1)</sup>  
 1) 結核予防会 結核研究所 2) University Teaching Hospital, Lusaka, Zambia 3) Community Based TB/HIV/AIDS Organization, Lusaka, Zambia
- W16 - 3 タイ国ランパーン県における HAART 療法治療失敗の関連因子とアドヘレンスモニタリング・評価方法に関する研究  
 土屋 菜歩<sup>1)</sup>、PATHIVANICH PANITA<sup>2)</sup>、安田 直史<sup>3)</sup>、向山 由美<sup>4)</sup>、SAWANPANYALERT PATHOM<sup>5)</sup>、有吉 紅也<sup>1)</sup>  
 1) 長崎大学熱帯医学研究所 感染症予防治療分野 2) Day Care Center, Lampang hospital 3) ユニセフ 4) 佐久総合病院 5) タイ国立衛生研究所
- W16 - 4 アフリカでの結核・エイズ：タンザニアでの結核対策への HIV 検査及びカウンセリング( TC )の導入事例から  
 竹中 伸一<sup>1)</sup>  
 1) 長崎大学 国際連携研究戦略本部

### 第3会場(会議室1-3)

#### 9:35-12:00 ワークショップ15: 感染症理論疫学

オーガナイザー: 西浦 博(長崎大学熱帯医学研究所)

竹内昌平(長崎大学熱帯医学研究所)

座長: 西浦 博(長崎大学熱帯医学研究所)

竹内昌平(長崎大学熱帯医学研究所)

- W15 - 1 日本におけるヒトT細胞白血病ウイルスI型キャリア分布と古代人口動態の関係: 数理疫学モデルによる考察  
 江島 伸興<sup>1)</sup>  
 1) 大分大学 医学部 人間環境・社会医学講座
- W15 - 2 数理疫学における年齢構造化個体群ダイナミクス  
 稲葉 寿<sup>1)</sup>  
 1) 東京大学大学院 数理科学研究科
- W15 - 3 季節変動を考慮した感染症動態と麻疹の2年周期 - 進化論的な観点から  
 加茂 将史<sup>1)</sup>  
 1) 産業技術総合研究所 化学物質リスク管理研究センター
- W15 - 4 スケールフリー・ネットワーク上の病原体競争に関する数理モデル  
 増田 直紀<sup>1)</sup>、今野 紀雄<sup>2)</sup>  
 1) 東京大学大学院工学系研究科 2) 横浜国立大学大学院工学研究院
- W15 - 5 症候期年齢に対する天然痘感染性の逆算法による最尤推定  
 西浦 博<sup>1)</sup>  
 1) 長崎大学熱帯医学研究所; Institute of Medical Biometry, University of Tubingen
- W15 - 6 IBMを用いたの通勤電車のリスク評価: 新型インフルエンザ対策への応用  
 大日 康史<sup>1)</sup>、前田 博志<sup>2)</sup>、合原 一幸<sup>3)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 2) 東京大学大学院情報理工学系研究科 3) 東京大学生産技術研究所

W15 - 7 天然痘バイオテロの流行規模及び必要ワクチン量推定の試み

徳永 章二<sup>1)</sup>

1)九州大学大学院 医学研究院 予防医学

---

#### 第4会場（会議室4・5）

---

9:40 - 11:50 ポスター口演5 P3 - 1 ~ 33・75

感染症：HIV / AIDS / 感染症：結核 / 在日外国人医療 / 旅行医学 / 肝炎ウイルス / その他

13:00 - 15:30 自由集会8

歯科関係者の関わる国際保健

世話人：小坂 健（東北大学大学院歯学研究科・国際歯科保健学）

---

#### 第5会場（リハーサル室）

---

9:40 - 12:40 ポスター口演6 P3 - 34 ~ 74

国際学校保健 / 歯科・口腔保健 / 人材育成・人材開発 / ワクチン・接種実施事業の現状・その他 /  
リーシュマニア・トリパノソーマ症

13:00 - 15:30 自由集会6

国際地域看護研究会：適正技術開発と普及におけるコラボレーション - マラリア対策を事例として -

世話人：近藤麻理（岡山大学医学部保健学科）

15:30 - 18:00 自由集会7

第30回国際小児保健研究会：MDGs と小児感染症

世話人：中野貴司（国立病院機構三重病院小児科・国際保健医療研究室）